

「あきた体験農園」～平成25年度活動報告③～



－ 園児によるさつまいも掘りの収穫体験を実施 －

先日は、今期活動の中最大のイベントである『芋掘り体験』が行われました。あおぞら保育園(秋田市仁井田)の園児22名は、元気な歓声を上げながら、楽しそうに収穫を体験していました。「あきた農業体験施設」の今年度の会員は36名。都市近郊の耕作放棄地を再生し、農地環境の改善と都市住民の農業に対する理解を得ることを目的として、秋田市仁井田地区に地域住民参加型の体験農園を開設し、4年前から活動に取り組んでいます。

- ① 8月9日 第1回目の枝豆の収穫作業
- ② 8月19日 第2回目の枝豆の収穫作業
- ③ 9月2日 白菜の植えつけと大根・カブの植え付け
- ④ 9月15日 菜の花畑の肥料散布とトラクターによる耕起作業
- ⑤ 10月4日 サツマイモの蔓刈り作業
- ⑥ 10月7日 サツマイモの収穫

担当・問い合わせ先

あきた農業体験施設(市民農園・教育ファーム)事務局
水土里ネット秋田 総務企画部内 鈴木一秋・高橋康信、

TEL.018-888-2712
FAX.018-888-2834

特集

農業水利施設内の「ゴミ」問題

シリーズ⑮



現地踏査「真菰が排水に影響し除去に苦慮」

井川町土地改良区(秋田管内)

平成25年8月22日、井川町土地改良区受益地において、本会役職員が土地改良区が抱える農業水利施設内のゴミの問題について意見交換を行うとともに、ゴミの実態を踏査した。土地改良区事務所で工藤理事長が「排水機場は一年中稼働しているため、一般ゴミや農家の刈草等の流入があり、大雨の時は真菰が排水機場のスクリーンを塞ぎ、排水に苦慮している」と話された。

対策 看板設置、クリーンアップ、広報で注意を促す。

要望 既存補助事業(国営造成施設管理体制事業)の継続。

水土里ネット秋田からの提案

各水土里ネットで「水(み)土(ど)里(り)の日」を決めて、役職員自ら「ゴミ」処理を行ってみませんか。

